



日本共産党名古屋市議員 **柴田民雄**
昭和区市政ニュース

No. 12・13 合併号
 [2015/8/9 発行]



発行 日本共産党名古屋市議員団 〒460-8508 名古屋市中区三の丸 3-1-1 名古屋市役所東庁舎 3F Tel 052-972-2071
 名古屋市議員柴田民雄事務所 〒466-0849 昭和区南分町 3-3 Tel 052-858-3255 Fax 052-858-3256
 tamio.jcpweb.net / shibata@tamio.jcpweb.net / @shibata_pin / www.facebook.com/tamio.shibata

来年の中学教科書採択、 歴史捏造教科書を回避

7月29日(水)10:00～行われた名古屋市教育委員会臨時会で、来年4月から中学校で使用される歴史・公民教科書の採択審議が行われ、第二次世界大戦における日本のアジアに対する侵略性を否定する立場で記述された、育鵬社・自由社の教科書の採択は回避されたことが各社の新聞に報道されました。

2期目に入った河村市長は相変わらず「南京事件はなかったのではないか」という立場を表明していますが、新しい教育委員を市長が任命して入れ替えており、育鵬社や自由社の教科書が採択されてしまう可能性もある状況でした。

採決は教育出版 3 対育鵬社 2 対東京書籍 1 に分かれ、決選投票で 4 対 2 で教育



教育委員会の前で「育鵬社採択をやめて」と訴える新婦人のメンバー（29日、名古屋市）

赤旗 7月30日より

来年4月から中学校で使用される歴史・公民教科書を決める名古屋市教育委員会の臨時会が29日、市役所庁舎内で開かれ、委員による無記名投票の結果、侵略戦争美化の育鵬社・自由社の教科書が不採択となりました。河村たかし市長が日本軍「慰安婦」や南京大虐殺の存在を否定する発言をしている中、市民の運動で押しとどめた成果です。

教科書展示会で中学校教科書に寄せられた市民の意見は1664通。前回と比べ5倍増。前回は比べ5倍弱。審議の中で市教委事務局は「侵略戦争を美化し戦争を肯定する教科書はふさわしくない」との声を86%を占めた。とのべました。

複数の委員が「南京大虐殺の表現を避けたものが望ましい」「天皇が千数百年続いたことが他国にない特色」などの持論を展開。別の委員は「歴史は事実を忠実に書くべきだ」とし、アジア解放のための自衛・自衛の戦争だったとする「大東亜戦争」の記述が「国民を欺いた」と批判しました。

服部はつ代委員長は意見が割れたことを理由に無記名投票を提案。1回目の採決で教育出版3、育鵬社2、東京書籍1。上位2社による決選投票で教育出版が採択されました。公民は1回の投票で東京書籍4、日本文教出版2でした。投票による教科書採択は名古屋市教委では初めて。

服部委員長は、教科書展示会で8割超が侵略美化教科書の不採択を求めていたことについては「多様な意見の一つとしての参考」としました。

傍聴席40に78人の希望者が殺到。小3の子連れ審議を聞いていた三原香奈子さん(49)は「育鵬社に2票も入りびっくりしたが、多くの市民が反対の声をあげてくれたことがわかってよかった」と笑顔で語りました。

名古屋市内の40代社会科教師は「戦争美化する教科書を授業で使うことになれば、お国のためという軍国主義のあやまった教育を繰

育鵬社教科書を不採択 名古屋市教委 侵略美化市民がノー

出版が採択されました。

事前に行われた教科書展示では、市民から、「歴史を歪曲する歴史教科書の採択に反対」と、育鵬社・自由社の教科書を採択しないよう求める意見が多数寄せられ、この結果を教育委員会臨時会の論議の中で質問した委員もいました。臨時会当日も会議室の廊下で傍聴から溢れた新婦人の皆

さんが、横断幕でアピールしたことなどと合わせ、幅広い市民が積極的な運動を展開した成果と言えます。

しかし、東京都教育委員会や神奈川県藤沢市教育委員会が相次いで育鵬社の歴史・公民教科書を採択したことなど、警戒すべき動向が続いています。今後も注視が必要です。(裏もあります→)

高田町線道路計画がいつに廃止に!

およそ9年にわたって住民の反対運動が続いていた、市道高田町線の都市計画が、ついに廃止の方針が発表されました!

運動開始当初は、日本共産党の佐藤典生元市会議員も大きな力を発揮しました。住民の願いと運動が行政を動かしたという、貴重な前例を作ることができました。今後、郡道にライフエリア構想を実現させ、地域の皆さんのニーズに応えるまちづくりができるよう頑張ります。



無料法律相談のご案内

柴田たみお事務所にて、提携弁護士と初回無料で法律相談ができます。相続・金銭トラブル・裁判など、お気軽にご相談ください【予約制・30分】

- 第2金曜日：午後2時～4時
- 第4火曜日：午後6時～8時

8月14日(金)は休み
 8月25日(火)午後6時～8時
 9月11日(金)午後2時～4時
 電話：052-858-3255 にご予約ください!
 ※生活相談は随時受け付けています

柴田たみお事務所
 昭和区南分町 3-3 tel 052-858-3255
 御器所駅から徒歩11分・川名駅から徒歩11分
 (事務所の駐車場はありませんが、東隣に名鉄協商コインパーキングがあります)

第57回自治体学校in金沢レポート

前号でもお知らせしましたが、7月25日(土)~27日(月)の3日間、金沢で行われた第57回自治体学校in金沢に、参加してきました。



1日目に行われた記念講演は、宮本憲一さん(大阪市立大学・滋賀大学名誉教授/日本環境会議名誉理事長)による

「地方自治の危機と再生への道~憲法と沖縄問題から考える」。戦後民主主義の発展の歴史を、環境問題を軸に振り返り、大規模な公害問題の発生が、住民自治を大きく飛躍させる契機になったことを指摘。私自身、公害被害者としての政治を志す原点を改めて熱く思い出させてくれるお話でした。

また、憲法が破壊されようとしている今日において、地方自治の力で対抗するためには、「ゆっくりとした変革を求める保守層」との連携をいかに作れるかにかかっている、との指摘には納得でした。

続いて行われたパネルディスカッションでは、大規模な自治体の合併について、財政面、住民の福祉の偏在化などの分析を行い、「小さくても輝く自治体」を目指す取り組みをされてきた長野県阿智村の岡村一雄前村長の思いの溢れる話に、胸が熱くなりました。また、戦争法案の中に含まれている「国民保護法」の問題に触れられ、私が総務環境委員会で戦争法案について発言した指摘を、ここでも同じ思いで発言してくれていたことに励まされました。

また、沖縄辺野古、大阪市住民投票、石川民医連のリードトークもあり、熱い連帯の拍手に包まれました。



二日目は、「水は憲法に保障された生存権」の分科会に参加しました。

ヨーロッパでは日本に先駆けて水道の民営化が進んだ国々で、相次いで再公営化の流れが起こっていると。川崎市で、水道民営化で上質な自己水源を放棄して高価な事業団水源を導入しようとする動きを住民の訴訟で跳ね返そうとしている報告。ジュネーブ条約で、戦争中であっても、上下水道施設は破壊してはならないと取り決められていることなど、水道について知らなかったことがたくさん学べ、そして公的責任で上下水道を守ることの大切さを改めて知りました。



3日目は、朝金沢城址を見学。何もかも名古屋城とはスケールが違い、本物「復元」にこだわることの小ささを思い知らされました。



その後は3箇所を視察。1つ目は「金沢市民芸術村」です。前号でも触れましたが、24時間365日6時間1000円で利用できる市民の芸術文化活動のための施設に、思わず「引っ越してきたい」と思うほど。運営費の1割しか利用料収入で賄えない仕組みにもかかわらず、指定管理者制度で、毎年予算は維持(他の指定管理事業は毎年10%削減の圧力がかかり減らされ続けている)。むしろ、もっと部屋を増やし、事業を拡大して欲しいと要求が上がっているとのことでした。市民の文化・芸術



メールマガジンにご登録を

市議員柴田民雄の活動状況を直接お手元にお届けするメールマガジンを不定期発行しています。

登録方法は、右下のQRコードを読み取って表示されるメールアドレス(手打ちで mtouroku@tamio.jcpweb.net でも可)に空メールを送るだけ!簡単です。なお、メルマガの送信元は mmaga@tamio.jcpweb.net です。ここからのメールを拒否してしまわないように、迷惑メール対策にご注意ください。

登録したのに送られてこない場合は shibata@tamio.jcpweb.net までお問い合わせください。



に対する価値観の違いを感じました。

2つ目は21世紀美術館。金沢大学の付属小中学校の移転後の跡地を買い取り、現代芸術で街の賑わいを生み出すことと市民の憩いの場を提供することを目的に200億円で設置。見事に成功しています。こちらにもその潔さに感服します。

3つ目は、古九谷発祥の地、加賀市大聖寺にある^{はざまいのすけ}裕伊之助美術館。九谷焼きの技術を再生させ、独自の絵画芸術と融合させた^{はざまいのすけ}故裕伊之助氏のお弟子さんが維持している美術館です。100才のむのたけじさんや、大田昌秀元沖縄県知事の講演会やピアノコンサートなど、平和と文化のイベントなどに熱心に取り組んでいます。しかし残念ながら、茅葺屋根のメンテナンスなどにもほとんど補助金は出ず、ほぼ「友の会」の会費で支えられているとのこと。金沢市の大胆さに比較して、一般市町村の文化行政の不足を、市民の力で支えている構造に、その心意気の高さと行政の遅れを痛感しました。

名古屋市政に生かしてゆく課題をたくさん受け取った研修でした。

